


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	観光振興課
施策名	滞在交流型観光地づくりの推進			施策コード	0515
政策体系(中項目)	道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現			政策体系コード	2(6)A
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画 Society5.0推進計画 地球温暖化対策推進計画				事務事業数
SDGs				総合判定	やや遅れている
予算額(千円)	R 4	844, 963	R 3	895, 733	R 2
					999, 890

施策目標	<p>広大で密になりにくい本道の優位性や自然や食・文化など本道の魅力を活かし、アドベンチャートラベル等の体験型観光やワーケーション等の滞在型観光を推進し、「安全・安心」で選ばれる観光地づくりを進めるほか、本道の観光産業を支える人材の確保や育成を進める。</p>				
現状と課題	<p>人口減少による旅行市場縮小懸念や感染症拡大防止のための「三密」回避など量の拡大が難しい状況下において、道内観光の高付加価値化を目指すとともに、観光客の様々なニーズに対応できる施策を展開し、「満足度向上と連動した消費単価の向上」が必要である。</p>				
前年度二次評価意見	<p>滞在交流型観光地づくりの推進のため、地域の多様な関係者の参画による観光客の増加を観光消費拡大につなげ、その消費を地域で循環させ、更なる取組へとつなげ、魅力ある「観光地づくり」を進めることは重要であり、地域の「稼ぐ観光」を実現するとともに、観光施策による効果を地域経済の活性化に繋げる取組の一層の推進を検討すること。</p>	<p>対応状況 (R4.3時点)</p>	<p>滞在交流型観光地づくりの推進に向けて、アドベンチャートラベル(AT)に代表される長期滞在型、富裕層向けの旅行商品開発を目指し、ATの推進に係る取組や観光人材の確保・育成のほか、AI(チャットボット)を活用した情報発信や、安全・安心な観光地づくりに取り組むなど北海道観光の更なる高付加価値化に努める。</p>		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 新たな旅のスタイルであるワーケーションの推進等、道内各地域の魅力を活かした観光地づくりに向けて観光資源の掘り起こしや磨き上げ、広域連携による観光振興の取組に対し支援し、地域経済の活性化を図る。 道内各地の拠点となる空港を核とした魅力あるモデルルートを形成するとともに、地域への周遊促進に向けて二次交通の利便性向上に取り組むことで、インバウンド等の需要の地域偏在の解消を図る。 アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)の開催を契機として、アドベンチャートラベルを北海道観光の主要な柱の一つとするため、人材育成や戦略的な市場開拓等の取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業において、DMO申請枠を新設し、ワーケーションや観光のDX化をはじめとする商品開発支援を実施した【R3年度実績】地域単独70件1.2億円(前年比+19件+4,200万円)、広域連携31件8,500万円(前年比▲2件+1,300万円) 道内を10のエリアに区分けし地域開発事業としてモニターツアーや旅行会社との意見交換等を実施し、OTA商品を掲載したほか、二次交通データ(時刻表、バス停位置情報)の統一化等により「見える化」が実現した。 R3.7月に北海道観光審議会に部会を設置し、新たなガイド制度について検討を進め、本年9月を目途に制度のとりまとめを行う予定としているほか、アドベンチャートラベルの受入拡大に向けて、ガイドの育成研修を道内各地で開催した。(R2:9回、R3:23回)

連携状況	<p>北海道観光のくにつくり条例に基づく「北海道観光審議会」において、第5期行動計画の策定やアウトドア活動振興推進計画やアドベンチャートラベルに対応した新しいガイド制度のあり方などに関し、ポストコロナを見据えた魅力ある観光地づくりの推進を図るため、構成員である北海道観光振興機構をはじめとする関係団体や民間企業、学識者、一般公募委員等と連携し、議論を展開している。【R2:審議会2回・部会2回→R3:審議会3回・部会7回】。</p>
緊急性優先性	<p>訪日外国人来道者数(実人数)はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は国内外問わず旅行需要の低迷が続いている。ポストコロナにおいては、地域の新たな商品づくりやワーケーションといった「新たな旅のスタイル」の促進や、消費額の高いアドベンチャートラベルを柱とする本道観光の振興が重要であることから、休暇分散化の検討や地域の取組への支援について継続的に国に要望を行っている。【観光入込客数の推移(万人)】H30:5,520→R1:5,277→R2:3,338→R3:3,495(R4.9月公表)【観光総消費額】R元:1兆5,159億円→R2:4,354億円→R3:5,481億円(R4.6月時点暫定値)</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	0515
---------------	-----	----------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額（道内客1人当たり）		目標値	13,854	13,927	14,000	15,000	67.4%	D
		実績値	—	13,432	9,439			
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により旅行需要が減少し、道内客では交通費や買い物代、飲食費などにおいて減少がみられた。 ※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価【R3年度実績値10,133円（R4.6月時点暫定値）】								

指標名②	増加	円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額（道外客1人当たり）		目標値	74,536	75,268	76,000	79,000	89.1%	C
		実績値	—	70,773	67,733			
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により旅行需要が減少し、道外客では交通費と買い物代において減少がみられた。 ※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価【R3年度実績値81,574円（R4.6月時点暫定値）】								

指標名③	増加	万人泊	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
宿泊客延数（国内客）		目標値	2,932	2,966	3,000	3,500	51.5%	D
		実績値	2,937	2,866	1,544			
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により、道内においても緊急事態措置等が講じられ、不要不急の帰省や旅行、他都府県への往来自粛が要請されるなどにより、旅行需要が減少したため指標が低調となった。また、全道の宿泊客数の半数以上を道央が占めており、依然として地域に偏りがある【宿泊客延数(万人)R元:全道3,620、道央2,157、R2:1,544、道央794、R3:1,873、道央1,019(R4.9月公表)】								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	D	総合判定	やや遅れている
------	---	--------	---	------	---	------	---------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	観光消費額は感染症の拡大により低調となっているが、観光消費額の向上にはモノ消費からコト消費への転換に対応することが必要と考えられることから、観光客のニーズ変化を捉え、変化に対応できる観光コンテンツの磨き上げや質の高い人材育成に取り組む。
	②	観光消費額や宿泊客延数は感染症の拡大により低調となっているが、広大で密になりにくい自然環境やワーケーションなどにより、ポストコロナを見据えた「新たな旅のスタイル」を定着させながら、満足度の高い受入体制の整備や情報発信イベントなどのプロモーションに取り組む。
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	0515
---------------	-----	----------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、道内観光の高付加価値化や、観光客の満足度向上と連動した消費単価の向上が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	---

令和4年度 事務事業評価調査	施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	0515
----------------	-----	----------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0301		一般	アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023開催推進費	アドベンチャートラベルの振興を図るため、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023」開催に向けた取組を実施する。	観光振興課		19,703	19,703	6.0	0.0	6.0	66,407			
0302		一般	地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(臨時交付金)	新たな旅のスタイルであるワーケーションの推進等、道内各地域の魅力を活かした観光地づくりに向けて観光資源の掘り起こしや磨き上げ、広域連携による観光振興の取組に対し支援し、地域経済の活性化を図る。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		239,262	0	0.3	0.0	0.3	241,597	①②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照
0303		一般	アドベンチャートラベル推進事業(創成交付金、臨時交付金)	アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催を契機として、アドベンチャートラベル(AT)を、本道を代表するツーリズムの1つとするため、AT顧客に対応するガイドの能力を対外的に証明できる制度の検討やAT商品の開発、情報発信を行い、本道のATブランド化を促進する。	観光振興課		147,423	32,741	0.3	0.0	0.3	149,758	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照
0304		一般	アウトドア活動振興環境整備事業費	アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営やアウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。	観光振興課		368	239	0.3	0.0	0.3	2,703			
0306		一般	広域観光周遊促進事業費	道内各地の拠点となる空港を核とした魅力あるモデルルートを形成するとともに、地域への周遊促進に向けて二次交通の利便性向上に取り組むことで、インバウンド等の需要の地域偏在の解消を図る。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		154,935	154,935	0.8	0.0	0.8	161,162			
0307		一般	宿泊施設を核とした滞在型観光推進事業費(臨時交付金)	宿泊により滞在型観光を促進し、自然や食、体験などを生かした地域観光の活性化を図る。	観光振興課		2,240	0	0.5	0.0	0.5	6,132			
0308		一般	広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業費(創立交付金)	新型コロナウイルス感染症を踏まえた観光誘客促進を図るため、マーケティングデータの収集・分析を実施する。	観光振興課		70,844	35,422	0.8	0.0	0.8	77,071			
0309		一般	北海道観光誘致推進事業費(受入体制整備)	本道観光の振興を図るため、(公社)北海道観光振興機構が実施する各種観光振興事業を支援し、観光事業の健全な発展を図る。	観光振興課		40,968	40,968	0.3	0.0	0.3	43,303			【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0310		一般	北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費	本道が高い競争力を持つ「食」と「観光」の魅力をアピールする総合情報拠点として、「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」を札幌市との連携のもと運営する。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		34,982	21,509	0.3	0.0	0.3	37,317			
0311		一般	ユニバーサルツーリズム推進事業費(創立交付金)	誰もが安全・安心に旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」の実現に向けて、様々なニーズを持つ旅行者が道内旅行を楽しむことができる受入体制整備を推進する。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		19,895	9,948	0.3	0.0	0.3	22,230			
0313		一般	住宅宿泊事業法関連事業費	民泊を活用した誘客拡大と民泊による近隣住民とのトラブルの解消を目的に施行された「住宅宿泊事業法」を適正に執行する。	観光振興課		14,441	14,441	2.0	1.4	3.4	40,907			
0314		一般	観光統計調査事業費	本道における観光入込客数などを調査し、観光振興施策推進の基礎資料とする。	観光振興課		6,046	6,046	0.5	0.0	0.5	9,938			
0315		一般	観光人材確保・育成事業費(臨時交付金)	ポストコロナへ向けた北海道観光の受入体制を整備するため、観光関連事業者の確保及び育成を図る。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		54,500	0	0.8	0.0	0.8	60,727	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照
0340		一般	ポストコロナへ向けた安全・安心な観光の情報発信事業費(臨時交付金)	旅マエ・旅ナカに必要な「安全・安心情報」をあらゆるところでワンストップ、リアルタイムで提供するツールを構築し、誰もが安全・安心・快適に移動、滞在できる観光地づくりを推進する。	観光振興課		39,356	0	0.8	0.0	0.8	45,583			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度							令和4年度		
						前年度から の繰越事業 費(千円)	事業費 (千円)	執行体制				フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
								うち 一般財源	本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
0317		事務	観光客の受入体制整備に関する事務	観光客に対応するため、受入体制の整備を図る。(Wi-Fi、キャッシュレス、医療、レンタカー、災害対応等)	観光振興課		0	0	0.3	0.0	0.3	2,335			
0318		事務	地域イベントに関する事務	地域イベントに係る後援名義依頼、役員就任、行事への出席、キャンペーン支援	観光振興課		0	0	0.3	0.0	0.3	2,335			
0319		事務	その他内部管理事務	予算決算、文書管理、議会対応、職員の人事・服務・給与・福利厚生、物品管理、広報広聴、陳情要望、政策評価、企画立案など、局内の内部管理に関する事務全般	観光振興課		0	0	4.0	0.0	4.0	31,136			
0320		事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課		0	0	4.0	0.0	4.0	31,136			
計							0	844,963	335,952	22.6	1.4	24.0			

